

令和8年度 これまでに寄せられた声（その他）

寄せられた主な声	市の考え	受付年月
中原区の木月町のブレーメン通りにトモズが多すぎると思う。本が武蔵小杉にいかないと買えないから近くに本屋さんを作ってほしい。	すてきなご意見をありがとうございます。新しい本を手にとって、ワクワクできる場所が近くにほしいという気持ちはよくわかります。 本屋さんなどのお店を開くときは、お店を開きたい会社などが、どこにお店を開けば多くのお客さんに来てもらえるか、地域（ちいき）の人に必要とされるお店になるかななどを考えて、場所を決めています。 川崎市が本屋さんを直接つくることは難しい（むずかしい）ですが、それぞれの会社の考えを大切にしながら、川崎にお店を出したいと思ってもらえるよう、魅力的（みりょくてき）な地域（ちいき）を作るお手伝いをこれからも続けていきたいと思っています。	令和8年5月
少子高齢化に対する対策として託児所を増やしてほしい	川崎市では、子どもの数がへっているため、まずは今ある保育所を大切に使うていくことにしています。 ただし、大きなマンションができる場所など、これから子どもの数が増えそうな地域では、新しい保育所を作っています。 令和8年度は、宮前区と多摩区で1か所ずつ新しい保育所を開設しました。	令和8年5月
推し活について、みんなが自由に好きなことをやれる所が良いと思います。推し活に限らず、好きなことをやれると良いと思います。理由は思う存分自分で好きなことをやれていなかったりしたら、「本当はやりたかったけど、どうしてもできなかった」ということがあったらかなしいので、自分らしさを出し切れるところがあったら素敵だな。と思ったからです。	川崎市の「子どもの権利（けんり）に関する条例（じょうれい）」には、子どもにとって特に大切な権利（けんり）の一つとして、「ありのままの自分である権利（けんり）」があります。これは、一人ひとりの違い（ちがい）が認められ（みとめられ）、秘密（ひみつ）が守られ、人として大切にされること、また、ホッとできる場所で楽しく遊んだり、体を休ませたりできることを表しています。子ども夢パークやこども文化センターでは、子どもたちの意見をきいているので、スタッフに相談したり、意見箱に書いたりすると、同じことをしたい仲間が集まり、イベントができるかもしれませんので、ぜひ提案（ていあん）してみてください。	令和8年5月

令和8年度 これまでに寄せられた声（その他）

寄せられた主な声	市の考え	受付年月
川崎市について、イベントを多くしてください。理由は最近暇だから、なにかイベントを毎週開いてくれるといいなと思います。	川崎市では子どもや若者（わかもの）のみなさんが見やすいように、「かわさききこどもページ」というウェブサイトを作っています。 このページでは、川崎市についての情報（じょうほう）を発信しています。 トップページの「イベント」というところをクリックすると、川崎市内でどんなイベントがあるか調べることができます。ぜひ、見てみてください。 【かわさきこどもページ】 https://www.city.kawasaki.jp/kawasakiu18/	令和8年5月
	川崎区では、これからも、みんなが楽しく参加できるイベントや、新しいことを学べるイベント、くらしに役立つ催し（もよおし）などを行っていく予定です。 たとえば7月には、親子で地域（ちいき）のことを学べる体験イベントや、日本や海外の文化・音楽にふれられる催し（もよおし）、歴史（れきし）やくらしの工夫について学べる講座（こうざ）などがあります。 イベントについては、市政（しせい）だよりや市のホームページなどでお知らせしています。 ぜひ、気になるイベントを見つけて参加してみてください。 【イベントカレンダー】 https://www.city.kawasaki.jp/main/event2/curr.html	令和8年5月

令和8年度　これまでに寄せられた声（その他）

寄せられた主な声	市の考え	受付年月
動物の魅力をもっと知るイベントを開催してほしいです。 理由は、いろいろな人に動物のことを知ってもらうことによって、地球温暖化などの世界的問題につながるからです。	夢見ヶ崎動物公園では、「野生動物の生態（せいたい）や生息環境（せいそくかんきょう）」「動物飼育（どうぶつしいく）」や「動物園」などについて、より身近に感じてもらうために、「飼育（しいく）の日イベント」「動物園まつり」、「生物多様性（せいぶつたようせい）セミナー」などのイベントを行っています。こうしたイベントを通して、動物のことだけでなく、環境問題（かんきょうもんだい）について考えるきっかけにもなると思います。 夢見ヶ崎動物公園の公式Xで動物やイベント等の情報（じょうほう）を発信しているので、見てみてください。これからも動物の魅力（みりょく）を知ることができるイベントを開催（かいさい）していくので、ぜひ遊びにきてください。	令和8年5月
	夢見ヶ崎動物公園では、「野生動物の生態（せいたい）や生息環境（せいそくかんきょう）」「動物飼育（どうぶつしいく）」や「動物園」などについて、より身近に感じてもらうために、「飼育（しいく）の日イベント」「動物園まつり」、「生物多様性（せいぶつたようせい）セミナー」などのイベントを行っています。こうしたイベントを通して、動物のことだけでなく、環境問題（かんきょうもんだい）について考えるきっかけにもなると思います。 夢見ヶ崎動物公園の公式Xで動物やイベント等の情報（じょうほう）を発信しているので、見てみてください。これからも動物の魅力（みりょく）を知ることができるイベントを開催（かいさい）していくので、ぜひ遊びにきてください。	令和8年5月

令和8年度　これまでに寄せられた声（その他）

寄せられた主な声	市の考え	受付年月
今年の4/1から実施されている「青切符制度」について この制度について私は一部を反対しています。その法の改正を願って、今回は説明させていただきます。 具体的な反対する例 ・ 自転車は車道を走らなければいけない：インフラが未整備にも関わらず、私たち走行者を危険に晒している。自転車専用レーンを完全整備するべきだ。 ・ 手信号と片手運転の矛盾：手信号を出すと片手運転となり危険。ただし、手信号を出さなくても違反で青切符。自転車にウィンカーをつけるべきだ。 ・ ルールがあまりにも多すぎる：113のルールなんて流石に把握できない。覚える前に取り締まるのは納得いかない。 ・ 反則金が高すぎる：ながら運転は危険だが、何も12000円取る必要はないと思う。日本国民は指導さえすれば大体の人は守ってくれるはずだ。罰金はあくまでも最終手段にするべき。 もちろん、安全を守るために必要な法だってある。ただ、今回の青切符制度はやりすぎだと思う。 私たちはまだ子供だから良いものの、大人たちは必要のない罰金を取られると、生活に苦しむことだってあり得る。 上記で「子供」と表しているが、私の心はもう「子供」ではない。だから私たち川崎市民が動き出す必要があると思う。 日本、そして川崎の交通の未来を変えたい。その一心で。宜しく願い致します。	令和8年4月1日から始まっている青切符制度（あおきっぷせいど）は、もともとあった交通ルールの違反（いはん）を取り締まるための新しい制度（せいど）です。 川崎市では、交通ルールを広く知ってもらうために、自転車を使う人に守ってもらいたい基本的（きほんてき）なルールやマナーをまとめた「自転車安全利用五則（じてんしゃあんぜんりようごそく）」などのパンフレットやチラシを配り、自転車を安全に使うよう呼びかけています。 違反の取り締まりについては、神奈川県警察（かながわけんけいさつ）が行っています。取り締まりのことで困ったことがあるときは、その場所を担当（たんとう）している警察署（けいさつしょ）へ相談してみてください。 これからも川崎市では、神奈川県警察や関係する団体などと協力し、交通安全キャンペーンなどを通して、みんなに交通ルールを守ることの大切さを伝えていきます。	令和8年5月
	令和8年4月1日から始まっている青切符制度（あおきっぷせいど）は、もともとあった交通ルールの違反（いはん）を取り締まるための新しい制度（せいど）です。 川崎市では、交通ルールを広く知ってもらうために、自転車を使う人に守ってもらいたい基本的（きほんてき）なルールやマナーをまとめた「自転車安全利用五則（じてんしゃあんぜんりようごそく）」などのパンフレットやチラシを配り、自転車を安全に使うよう呼びかけています。 違反の取り締まりについては、神奈川県警察（かながわけんけいさつ）が行っています。取り締まりのことで困ったことがあるときは、その場所を担当（たんとう）している警察署（けいさつしょ）へ相談してみてください。 これからも川崎市では、神奈川県警察や関係する団体などと協力し、交通安全キャンペーンなどを通して、みんなに交通ルールを守ることの大切さを伝えていきます。	令和8年5月

令和8年度 これまでに寄せられた声（その他）

寄せられた主な声	市の考え	受付年月
ライフや、マックスバリュなどの大きなスーパーを下沼部に作って欲しいです。	すてきなご意見をありがとうございます。大きなスーパーがあると、買い物が一度にできて、とても便利です。 スーパーなどのお店を開くときは、お店を開きたい会社などが、どこにお店を開けば多くのお客さんに来てもらえるか、地域（ちいき）の人に必要とされるお店になるかななどを考えて、場所を決めています。 川崎市がスーパーを直接つくることは難しい（むずかしい）ですが、それぞれの会社の考えを大切にしながら、川崎にお店を出したいと思ってもらえるよう、魅力的（みりょくてき）な地域（ちいき）を作るお手伝いをこれからも続けていきたいと思っています。	令和8年5月
バスの本数を増やしてほしいです。理由は習い事などでバスに乗るときに早くつか遅くつかしかなからです。人も多くてぎゅうぎゅうで狭いからです。	貴重な意見や提案をありがとうございます。 市バスでは、バスに乗る人の数、運転手さんの人数、持っているバスの台数などを考えて運行しています。 バスの台数と運転手さんの人数には限り（かぎり）があるので、ある路線のバスを増やすと、ほかの路線のバスをへらさなければならないことがあります。そうすると、ほかのバスを使っている人が困る（こまる）こともあります。そのため、バスの本数を増やすときは、よく考えて決める必要があります。 今回のお願いは、大切な意見として受け取るとともに、これからもみんなが使いやすい市バスになるよう取り組んでいきます。	令和8年5月
川崎能楽堂は残したほうが絶対いいと考えます。なぜかというとな能という古典芸能に触れることができる機会が少なくなり川崎能楽堂で能や能に関係することをしてる人の練習ができなくなるので残したほうがいいと考えます。	川崎能楽堂（かわさきのうがくどう）は、能（のう）や狂言（きょうげん）といった古典芸能（こてんげいのう）や、箏（こと）や三味線などの邦楽（ほうがく）の発表・鑑賞（かんしょう）の場として、市民の皆さんに長年利用していただいています。 今後も市民のみなさんが広く古典芸能（こてんげいのう）に親しめる場所として活用していく予定です。	令和8年5月

令和8年度　これまでに寄せられた声（その他）

寄せられた主な声	市の考え	受付年月
テスト前、新百合ヶ丘で、勉強する所が欲しいです、なぜならサイゼリヤや、マックで勉強してもいいんですが、他の家族、ただでさえ混んでいる時間帯に、勉強するとなったら、私は、とても迷惑だと思いました、勉強するところがあったら、中間テスト、期末テストの、点数をあげることができると思います。 条件：勉強or仕事のみをするところ、静かなところ、自販機がある、これくらいです。 ぜひ私の願いを叶えてくださいっ！	川崎市では、地域（ちいき）の人の協力で、地域（ちいき）の寺子屋事業を進めています。今はまだすべての学校で開講（かいこう）できていませんが、地域（ちいき）の人に見てもらいながら、地域（ちいき）の施設（しせつ）などで勉強ができるように、取組を進めていますので、もし通っている学校に寺子屋があれば、ぜひ参加してみてください。	令和8年5月
	川崎市には、勉強できる場所として、こども文化センター等が市内に59か所（麻生区には10か所）あり、自由に来て使うことができます。平日と土曜日は9時半から21時、日曜祝日は9時半から18時まで利用することができます。自動販売機はありませんが、無料でウォーターサーバーを使うことができます。曜日や時間を決めて、静かに勉強できる時間を作っているこども文化センターもありますので、まずは近くのこども文化センターに相談してみてください。	令和8年5月
	新百合ヶ丘で勉強できる場所として、麻生市民館の3階に、「学習コーナー」という場所があります。ここは、自分で勉強するためのスペースで、予約なしで自由に使うことができます。席は6つあり、年齢（ねんれい）に関係なく、だれでも使えます。また、自動販売機（じどうはんばいき）も2階の入口の左にあり、飲み物を買うことができます。 ただし、学習コーナーを使うときにはゴミは自分で持ち帰る、食事はできないなど、ルールを守って使いましょう。	令和8年5月